

MIL-DTL-26482 シリーズ II (MS347X) コネクタ結線方法

1. コネクタの圧着

1.1 使用工具

- ・ワイヤーストリッパー
- ・圧着工具 : M22520/1-01
- ・タレットヘッド : M22520/1-02

1.2 適用コネクタ

コネクタ サイズ	区分	Amphenol 品番	Military 品番	カラーバンド ※
20	ピン	M5000-054-0020	M39029/4-110	茶・茶・黒
	ソケット	M5100-001-0020	M39029/5-115	茶・茶・緑
16	ピン	M5000-054-0016	M39029/4-111	茶・茶・茶
	ソケット	M5100-001-0016	M39029/5-116	茶・茶・青
12	ピン	M5000-054-0012	M39029/4-113	茶・茶・橙
	ソケット	M5100-001-0012	M39029/5-118	茶・茶・灰

※ 各コネクタにはMIL-C-39029 に基づいたカラーバンドが表示されます。

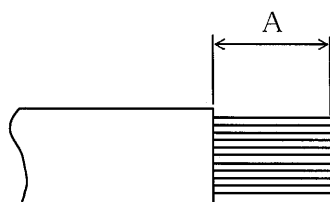
1.3 適用電線サイズ

コネクタ サイズ	適用電線サイズ	適用電線仕上り外径
20	24 ~ 20 AWG	1.02 ~ 2.10
16	20 ~ 16 AWG	1.35 ~ 2.61
12	14 ~ 12 AWG	2.47 ~ 4.01

1.4 作業順序 及び 注意事項

(1) 圧着のための電線処理

電線をワイヤーストリッパーを用いて下記寸法にストリップして下さい。



コネクタ サイズ	A (mm)
20	3.8 ~ 4.5
16	6.0 ~ 7.0
12	6.0 ~ 7.0

(2) 圧着工具の準備

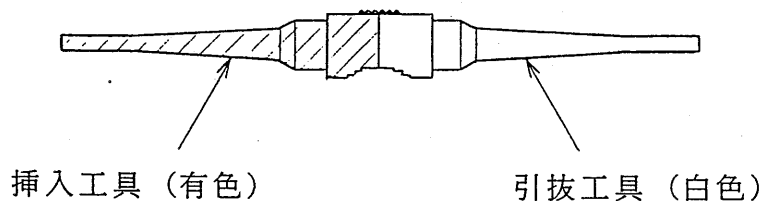
- (a) タレットヘッド M22520/1-02を圧着工具 M22520/1-01に取り付け、タレットヘッドに付属の六角穴付ボルトを締め付けて固定して下さい。
- (b) タレットヘッドの側面のポジション固定レバーを押し、ポジションをタレットヘッドから解除し、コンタクトサイズに従ってポジションを回転させ、コンタクトサイズ表示の白線に合わせます。
- (c) ポジションをタレットヘッドと同一面になるまで押し込みます。
この状態でポジションがセットされている状態となります。
- (d) 圧着工具のセレクターナンバー (SEL. No.) ダイアルを引き上げ、圧着する電線のサイズに合わせて白線の位置にセットして下さい。

(3) 圧着

- (a) 圧着工具のハンドルの開放
ハンドルをいっぱいまで締め付けてから、そのままハンドルを離すとハンドルは自動的に戻り開放状態になります。
- (b) 電線の挿入
ストリップされた電線をコンタクトのワイヤーウェルの確認穴から見えるまで十分挿入して下さい。
- (c) コンタクト挿入
コンタクトを圧着工具の圧着部孔に挿入して下さい。
- (d) 圧着
電線がコンタクトから抜け出さないように軽く押し付けながら、ハンドルを徐々に握り締めラチェットが外れるまで締め付けて下さい。この状態で圧着が完了します。但し、ラチェットが外れない状態で無理にハンドルを開かないで下さい。
- (e) コンタクトの取り出し
圧着されたコンタクトは、ケーブルを軽く引っ張り取り出すことができます。

2. コンタクトの挿入

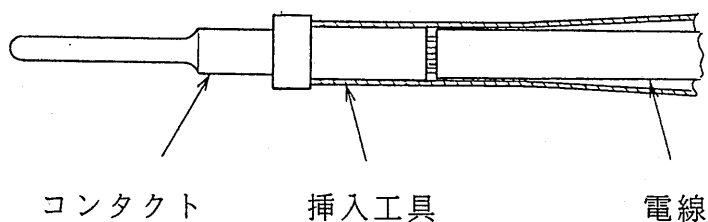
2.1 使用工具



コンタクト サイズ	パーツナンバー	カラーコード	
		挿入側	引抜側
2 0	M81969/14-11	赤	白
1 6	M81969/14-03	青	白
1 2	M81969/14-04	黄	白

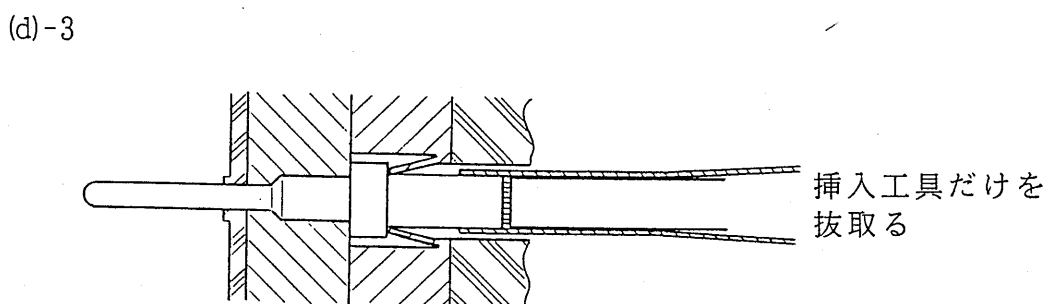
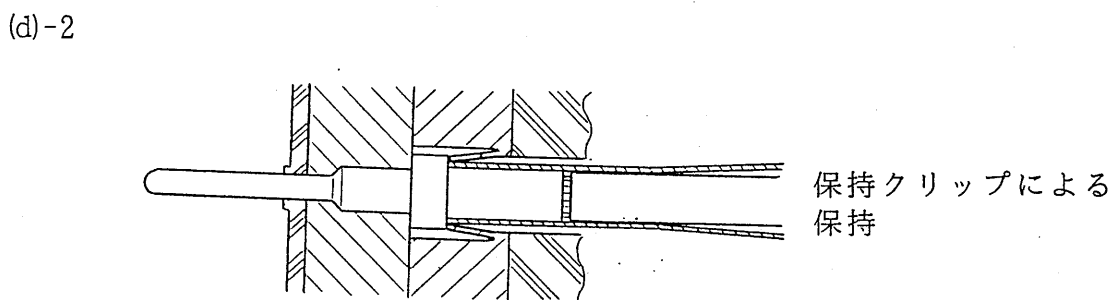
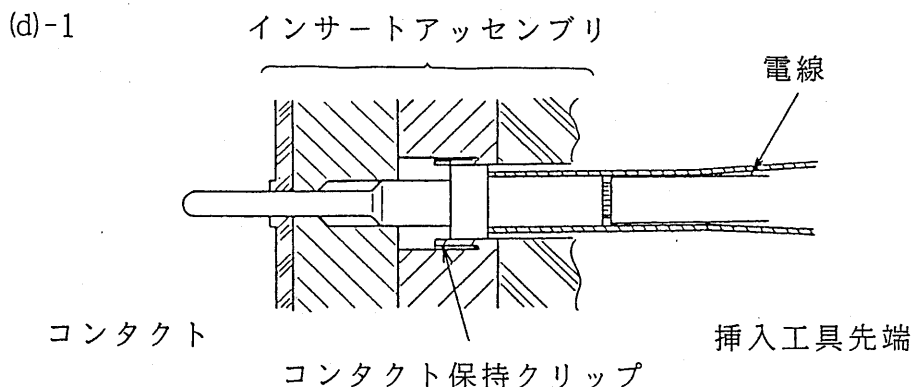
2.2 作業順序 及び 注意事項

- (1) 付属品等の準備
ストレインリリーフやバックシェル等の付属品にあらかじめ電線を通しておきます。
- (2) コンタクトの挿入
 - (a) 挿入はインサートの中心の穴から外側へ渦巻状に行ってください。
 - (b) コンタクトの圧着部側の肩部に挿入工具の先端が当り工具先端が圧着部を包む様に挿入工具をセットします。



- (c) コネクタが動かないよう固定させてコネクタ裏面のコンタクト穴より、コンタクトを挿入します。

- (d) コンタクトがコネクタ内部の保持クリップで保持されるまでゆっくりと一様な力で挿入して下さい。尚、この時コンタクトはコネクタに対してまっすぐの状態を保つ様注意して下さい。コンタクトをいっぱい奥まで挿入した後、挿入工具のみを引抜き、挿入が完了となります。



- (e) コンタクトが確実に保持されたことを確認するためにワイヤーを軽く引張って下さい。
- (f) 順に(b)~(e)の手順を繰り返して、コンタクトを挿入して下さい。
- (g) すべての結線されたコンタクトがインサートに挿入された後、使用されない残りの穴に結線されていないコンタクトを挿入します。尚、湿気などに対する封じの必要に応じてコンタクトの挿入後、シーリングプラグを挿入します。
- (h) インサートの嵌合面から見て、すべてのコンタクトが正しい位置に揃っていることを確認して下さい。

- (3) コネクタの組立
ワイヤーに通っている付属品等を順にコネクタに取付けて下さい。

3. コンタクトの抜き取り

回路の変更や誤配線等があった場合コンタクトを引抜く時、以下の手順にて抜き取り作業を行って下さい。

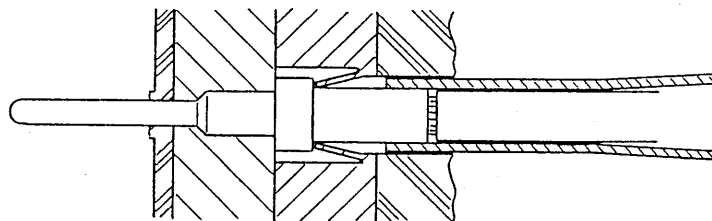
(1) 使用工具

挿入に使用した工具(2.1項参照)の引抜側(白色側)を使用して下さい。

(2) 作業手順 及び 注意事項

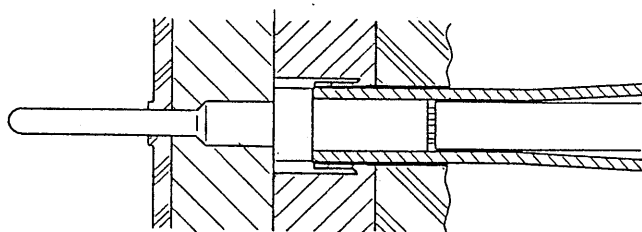
- (a) コネクタの付属品をコネクタから取り外し、電線上をすべらせてグロメットを露出させて下さい。
- (b) コンタクトサイズに合致した引抜工具(挿入工具に反対側の白色部)を引抜くコンタクトに圧着された電線に工具の先端がコンタクトの方向になる様にかぶせて下さい。
- (c) 電線の外側をすべらせ、インサートアセンブリのグロメット穴から工具を挿入します。
- (d) 工具を奥まで挿入し、保持クリップを押しひろげた状態で電線と工具を同時にコネクタから引抜きます。この時、電線及びコンタクトがコネクタの中に残る時は、まだ保持クリップが十分にひろがるまで工具の先端が挿入されていないので再度、工具を充分挿入して引抜いて下さい。

(d)-1



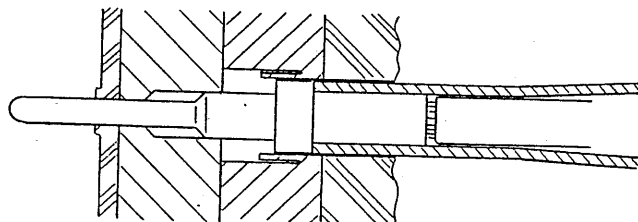
引抜工具の挿入

(d)-2



保持クリップの解除

(d)-3



コンタクト及び工具の引抜き

- (e) 引抜いたコンタクトを2項の挿入手順により挿入して下さい。